

『本当にあったこわい話』

みなさん、こんにちは。元気に過ごせていますか？ 私は大阪の司法書士の田實美樹といます。18歳で大人の仲間入りをする節目まであと一年をきりましたね。今日は、人生の節目節目にまつわるいろんな話を集めてみました。

～Aさんが大学生になってしばらくたった頃の話～

バイトを始めてある程度自由にお金が使えるようになってきたけど、買いたい物もたくさんあるし色々遊びにも行ってみたいし、もっとお金を稼ぎたいな～
家にいるときも空いた時間にできるいいバイトはないかな。
そんな時、新聞の求人チラシで「自宅でできる宛名書きバイト」を発見！
宛名書きスターターキットとマニュアル代も含めて初期登録費用8千円がかかるみたいだけど…
まあ、仕事を始めたら元はとれるだろうから応募してみよう。
数日後、簡単な説明書きと封筒10枚と切手10枚だけが送られてきた！わけがわからず問い合わせの電話を試してみたものの繋がらず。もちろんその後の宛名書きの仕事の依頼もまったく無し。
結局はどうすることもできずに泣き寝入り…。

～Bさんが社会人になってしばらくたった頃の話～

仲良くなった同期と昼ご飯を食べていたら、職場の女性の先輩がやってきて化粧品を勧められた。普段使っている化粧品があったけど、先輩の頼みでもあるし1回は付き合いで買ってみることに。しばらくして、その先輩から今度はその化粧品を効果的に使うためのセミナーに誘われた。仕方なく今回だけは…と行って見たものの、化粧品の説明は早々に終わって、いきなり会員を勧誘して増やせば自分が儲かるという説明とこのビジネスで成功したという人の表彰が始まった！その後もなんやかんやと勧誘されて、その先輩とは距離を置くようになった。もしかして、これってなんたらビジネスってやつだったのでは…。

～Cさんが出産後育児休暇を取っていた頃の話～

ピンポン！出てみると、掃除機を手を持っておじさんがにこやかに立っていた。
「お布団についているダニや目に見えない小さなごみをワンコインでスッキリきれいにするサービスで、今ちょっとこの辺りを集中的に回らせてもらってるんですけど、いかがですか？」
「うちは必要ありませんので結構です～」
「家に小さなお子さんはいませんか？特に、赤ちゃんのお布団には実はダニや目に見えない小さなごみがいっぱい、それを赤ちゃんが吸い込むと体に悪いんですよ。」
(えっ、赤ちゃんの体に悪い！？どーしよ…)
「赤ちゃんはいますけど…」
「赤ちゃんもいるんですしたら玄関先の話ではなんですし、ちょっとあがらせていただいて少し説明しましょうか？」
(子どもの健康となるとやっぱり気になるし…まあ、ワンコイン500円ならいいか。)
そのおじさんは、実際にお布団をその掃除機で掃除した後、特殊なフィルターを外して紙の上に

トントンとしてみせた。すると小さな黒いごみのようなものがたくさん出てきた！

「ね！これ見てください！こんなにたくさん見えないダニやごみが潜んでいるんです！」

(へ～、こんなに取れるんや、すごいかも。)

「この掃除機があれば赤ちゃんのお布団を清潔にして毎日健康を守ってあげられますよ。

本当はこの掃除機20万するんですけど、今日決めていただければ15万円で売りますよ。」

「確かによくごみはとれるみたいですけど、掃除機にしてはかなり高いですね。

それに、こういうことは家族にも一度相談してみないと。」

「一度に払うとなると大変ですよ、でも今なら月々3000円からの分割払いが利用できます。

月々払うなら家計の負担も少なくて済むし、先ほどのお宅でも分割払いを利用されてましたよ。

それに、家族に言わなくても1か月3000円位ならあなたでも内緒で出せるでしょ～」

(はあ～っ！?!?!?)

結局なんとか断って500円だけ払って帰ってもらったけど、赤ちゃんもいるのに見知らぬ他人を家に簡単に入れてしまったうえに、危うく高額商品売りつけられるところだった…。

もうお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、AさんBさんCさん全員、私の話です。

今でこそ司法書士として法教育に関わっていますが、悪質商法については、数々のやっても一た！

を経験して生きてきました。(最後のCさん時代にいたっては、すでに司法書士の資格をとっていました。まったくOH!NO～!な話ですが、子どもの健康のこととなると必死でした(遠い目))

でも、こうしたトラブルに巻き込まれると、悔しかったり、悲しかったり、腹が立ったり、自分を責めたり、周りに相談できなくて孤独を感じたり…。

こんな、やっても一た！ばかりの私ですが、これから未来を生きていくみなさんには、こんな思いを絶対にして欲しくありません。

みなさんをだまそうとする人たちは、成人になりたての柔らかい心を持ったみなさんを手ぐすね引いて待っていますし、容赦はしません。(そういう人たちへの怒りが、今の私の法教育へのモチベーションにもなっています。)

「こんな手口があるんやなあ。」

「なにか救済される方法があるかも。」

「相談できるところって、けっこういろいろあるらしい。」

知っていることが大きな力になります。自分だけでなく周りの人の力にもなれるかもしれません。

こちらのサイトには「マルチの罠」というわかりやすい教材があります。

<http://www.kinshiren.com/contents/houkyoiku/tutorial.html>

よかったら是非一度見てみてください。

これからも私たち司法書士はみなさんに寄り添い、みなさんを応援していきます！

一緒に頑張っていきましょう！！